

市議会だより

令和5年6月定例会の内容をお届けします。

総務委員会

産業建設委員会

教育厚生委員会

新体制 決まる!

19人で
スタート!

CONTENTS

- P 2 新しい議会の構成
- P 4 会議結果
- P 6 市政一般質問
- P15 委員会活動報告
- P18 編集後記

● 令和5年6月定例会で新しい議会構成が決まりました ●

議長・副議長就任挨拶

このたび、議員各位のご推挙により議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありその職責の重大さに改めて身の引き締まる思いでございます。

二代表制の一翼を担う市議会といたしまして議決機関としての機能と役割を十分発揮し、市民の皆様の付託に応えるべく邁進してまいりたいと考えております。

市民の皆様には市議会に対しまして、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【副議長】



もりその こうたろう
森園 浩太郎
(実践クラブ)

【議長】



うえだ よしさだ
上田 義定
(新風会)



はやしだ つとむ
林田 勉
(庶民の会)



ほんだ みえ
本田 みえ
(カラフル)



まつさか まさお
松坂 昌應
(カラフル)



もりその こうたろう
森園 浩太郎
(実践クラブ)

新しい議員の紹介 (議席順)

議員名
(会派名)



くすのき しんすけ
楠 晋典
(長浜会)



まつい もとひろ
松井 扶公
(島原新時代)



まつざき こうだい
松崎 広大
(公明党)



うえだ よしさだ
上田 義定
(新風会)



ほんだ まつひろ
本多 松弘
(庶民の会)



はまさき きよし
濱崎 清志
(平成会)



ほんだ じゅんや
本田 順也
(新風会)



たねむら しげのり
種村 繁徳
(庶民の会)



いちくら すみこ
一倉 澄子
(日本共産党)



くさの かつよし
草野 勝義
(市民平和の会)



まわたり みつはる
馬渡 光春
(実践クラブ)



ほんだ ひでき
本多 秀樹
(平成会)



ながた みつおみ
永田 光臣
(新風会)



ばば かつろう
馬場 勝郎
(平成会)



きたうら もりかね
北浦 守金
(実践クラブ)

● 新しい常任委員会等の構成も決まりました ●

島原市議会は、3 常任委員会のうち1 委員会に所属し、担当分野を専門的に審査します。
ここでは、議会運営委員会、各常任委員会、一部事務組合等の委員を紹介します。

(◎委員長 ○副委員長)

議会運営委員会

◎本田順也 ○本多松弘 松井扶公 草野勝義 本多秀樹 馬渡光春

総務委員会

◎種村繁徳 ○馬渡光春 上田義定 松崎広大 楠 晋典 草野勝義 馬場勝郎

産業建設委員会

◎林田 勉 ○永田光臣 森園浩太郎 松坂昌應 松井扶公 本多秀樹

教育厚生委員会

◎濱崎清志 ○北浦守金 本田みえ 本多松弘 一倉澄子 本田順也

議会選出各種委員等

島原地域広域市町村圏組合議会議員	上田義定 北浦守金 馬場勝郎 永田光臣 本多秀樹
県央県南広域環境組合議会議員	林田 勉 濱崎清志 馬渡光春
長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員	本多松弘
長崎県病院企業団議会議員	本田順也
行政改革推進審議会委員	本田みえ 草野勝義
民生委員推薦会委員	松井扶公 一倉澄子
都市計画審議会委員	森園浩太郎 林田 勉 本多松弘 松井扶公 草野勝義
子ども・子育て会議委員	一倉澄子
廃棄物減量等推進審議会委員	北浦守金
地域公共交通会議委員	松坂昌應 楠 晋典
農業振興地域整備促進協議会委員	種村繁徳 馬場勝郎 永田光臣 馬渡光春
島原病院運営協議会委員	本多秀樹
社会福祉協議会理事	濱崎清志
土地開発公社理事	上田義定 種村繁徳
教育文化振興事業団評議員	松崎広大
まち・ひと・しごと創生推進会議委員	松崎広大
空家等対策審議会委員	森園浩太郎

会派構成

平成会	馬場勝郎 濱崎清志 本多秀樹	市民平和の会	草野勝義
新風会	永田光臣 上田義定 本田順也	長浜会	楠 晋典
実践クラブ	北浦守金 森園浩太郎 馬渡光春	島原新時代	松井扶公
庶民の会	種村繁徳 林田 勉 本多松弘	公明党	松崎広大
カラフル	本田みえ 松坂昌應	日本共産党	一倉澄子

6月定例会

～任期満了に伴う議員選挙後の初議会～ こんなことが決まりました！

会 期

令和5年6月22日～7月12日 21日間

条例改正……4件 専決処分の承認……6件 決定……1件
 一般議案……1件 人事案件……20件 選挙……6件
 補正予算……2件 継続調査……2件 選任……2件
 合計 44件 その他報告5件

審議された議案とその結果

議案番号	件 名	議決結果
	島原市議会議長選挙について	選 挙
	島原市議会副議長選挙について	選 挙
	島原市議会議会運営委員会委員の選任について	選 任
	島原市議会常任委員会委員の選任について	選 任
報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	報 告
報告第2号	継続費繰越計算書の報告について	報 告
報告第3号	繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告
報告第4号	水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	報 告
報告第5号	水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告
第30号	専決処分の承認について（島原市税条例の一部を改正する条例）	承 認
第31号	専決処分の承認について（島原市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承 認
第32号	専決処分の承認について（島原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承 認
第33号	専決処分の承認について（令和5年度島原市一般会計補正予算（第1号））	承 認
第34号	専決処分の承認について（令和5年度島原市温泉給湯事業特別会計補正予算（第1号））	承 認
第35号	専決処分の承認について（令和5年度島原市一般会計補正予算（第2号））	承 認
第36号	島原市税条例の一部を改正する条例	原案可決
第37号	島原市収入印紙等購買基金条例の一部を改正する条例	原案可決
第38号	島原市建築関係手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
第39号	島原市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

第 40 号	島原市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
第 41 号	令和 5 年度島原市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決
第 42 号	令和 5 年度島原市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決
第 43 号	島原市教育委員会教育長の任命について（堀口達也 氏）	同 意
第 44 号	島原市農業委員会委員の任命について（太田武春 氏）	同 意
第 45 号	島原市農業委員会委員の任命について（水本正一郎 氏）	同 意
第 46 号	島原市農業委員会委員の任命について（廣瀬光徳 氏）	同 意
第 47 号	島原市農業委員会委員の任命について（祐田久男 氏）	同 意
第 48 号	島原市農業委員会委員の任命について（尾崎 栄 氏）	同 意
第 49 号	島原市農業委員会委員の任命について（村里枝美子 氏）	同 意
第 50 号	島原市農業委員会委員の任命について（林田靖仁 氏）	同 意
第 51 号	島原市農業委員会委員の任命について（松崎慎太郎 氏）	同 意
第 52 号	島原市農業委員会委員の任命について（森本勝也 氏）	同 意
第 53 号	島原市農業委員会委員の任命について（森 浩則 氏）	同 意
第 54 号	島原市農業委員会委員の任命について（北尾健一郎 氏）	同 意
第 55 号	島原市農業委員会委員の任命について（入江敏昭 氏）	同 意
第 56 号	島原市農業委員会委員の任命について（北浦守金 氏）	同 意
第 57 号	島原市農業委員会委員の任命について（金子利範 氏）	同 意
第 58 号	島原市農業委員会委員の任命について（林田了星 氏）	同 意
第 59 号	島原市農業委員会委員の任命について（田浦秀子 氏）	同 意
第 60 号	島原市農業委員会委員の任命について（稲田 勝 氏）	同 意
第 61 号	島原市農業委員会委員の任命について（田上 豊 氏）	同 意
第 62 号	島原市農業委員会委員の任命について（米田公明 氏）	同 意
	島原地域広域市町村圏組合議会議員の選挙について	選 挙
	県央県南広域環境組合議会議員の選挙について	選 挙
	長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	選 挙
	長崎県病院企業団議会議員の選挙について	選 挙
	常任委員会の閉会中の継続調査について	継続調査
	議会運営委員会の閉会中の継続調査について	継続調査
	議員派遣について	決 定

6月27日（火）

○一倉澄子 議員（7 ページ）

- ・子育て支援の充実について
- ・高齢者支援の充実について
- ・ジェンダー平等について

○種村繁徳 議員（7 ページ）

- ・都市計画の見直しについて
- ・子育て支援について

○楠 晋典 議員（8 ページ）

- ・人口減少対策
- ・投票率向上のための政策はどうなったのか
- ・フラワー公園問題
- ・防災問題（高潮・高波・大雨）
- ・市民の声

○林田 勉 議員（8 ページ）

- ・『島原城築城 400 年記念事業』
- ・不動産に関して市民へ新制度の周知を
- ・子育て応援・新入生ランドセル支給事業、決定後の保護者等の反応はどうか？

○本田順也 議員（9 ページ）

- ・観光行政について
- ・企業誘致に向けた今後の展望について
- ・産業の活性化のための戦略をどうとらえているのか。

6月28日（水）

○森園浩太郎 議員（9 ページ）

- ・島原市立小・中学校再編基本計画について
- ・温水プール跡地について
- ・市内の交通危険箇所について
- ・有明の森フラワー公園について

○本多松弘 議員（10 ページ）

- ・持続可能な公共施設の維持・管理について
- ・ウィズコロナについて
- ・市民の声について
- ・以前の質問について

○本田みえ 議員（10 ページ）

- ・市民が参加しやすい選挙をめざして
- ・三会出張所閉鎖後の対応について
- ・小中学校統廃合（素案）について
- ・こどもの貧困対策は現物支給で
- ・高齢になっても安心して暮らせる島原を
- ・企業誘致について

○北浦守金 議員（11 ページ）

- ・有明の森フラワー公園に係る不正な事務処理について
- ・半導体関連企業の誘致について

市政のここを問う！

一般質問

一般質問とは、市政全般に関することを議員が市に対して質問し、説明を求めるものです。

全質問項目は下記のとおりです。

（ ）の項目は、本文に内容を要約して掲載しています）

6月29日（木）

○草野勝義 議員（11 ページ）

- ・島原市職員の職場課題について
- ・新山本町線、交差点の交通事故防止と安全対策
- ・人口減少対策について
- ・害獣の対策について
- ・学校運営と環境について

○松坂昌應 議員（12 ページ）

- ・道路など公共施設の保全・改善
- ・日本一の防災を目指して
- ・島原半島は一つ
- ・有明の森 不正会計問題

○松崎広大 議員（12 ページ）

- ・安中地区まちづくり協議会について
- ・「COCOLOプラン〜誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」を受けての不登校の児童生徒への支援について
- ・雲仙岳災害記念館・こどもジオパーク年間パスポートについて

○松井扶公 議員（13 ページ）

- ・安中運動広場の整備について

6月30日（金）

○濱崎清志 議員（13 ページ）

- ・市長の市政運営について
- ・指定管理者制度について
- ・定住促進事業について
- ・窓口業務の簡略化・統一化の進捗状況について
- ・交通安全対策について

○馬渡光春 議員（14 ページ）

- ・島原城築城 400 年記念事業について
- ・部活動の地域移行について
- ・道路管理における市民の安全対策について



日本共産党
いちくら すみこ
一倉 澄子 議員

子育て支援の充実

Q 18歳までの子どもの医療費無料化実現に向けての市長の見解及び10月からの現物給付実現となった場合の医療機関での対応はどうか。

A 小・中学生の福祉医療費は10月から現物給付を実施。窓口で1回800円、月1600円を上限とする。高校生世代は4月から償還払いで県の全額補助により開始した。仮に18歳までの医療費を無料化した場合、3千万円の増加となるため、段階を踏みながら医療費助成制度の充実を図っていきたい。

Q どのような子どもにも食事を確保する広い意味での社会保障といえる小・中学生の給食。給食費軽減・無償化の実現をしていただきたいが。

A 財政的に厳しい。市長会等を通じて教育費・給食費は国の制度として一元化し無償化してほしいと要望している。

高齢者支援の充実

Q 加齢性難聴者への補聴器購入助成制度の導入と特定検診の検査項目に聴力検査を入れられないか。

A 障害者総合支援法に基づく補装具を給付している。加齢性難聴者についても該当する場合は給付を受けられる。特定検診で聴力検査は設けていない。専門の医療機関を受診してほしい。

Q たしる号の利便性向上を願う市民の要望に応えてほしいが。

A 予約センターの電話回線を増やした。運行台数をさらに増やしたいと考えている。

ジェンダー平等

Q 学校のトイレへの生理用品の配置状況はどうか。

A 保健室に備えている。トイレへの試行設置は再度協議してみたい。

【その他の質問項目】

◇18歳までの国保均等割軽減を
◇令和6年度1年生へのランドセル支給について

◇中学校の制服選択制について
◇パートナーシップ制度について

都市計画の見直し



庶民の会
たねむら しげのり
種村 繁徳 議員

Q 中尾川右岸地域の水田地帯は、進入道路がないため耕作放棄地が目立つ。営農者が推進委員会を発足し、約60%の同意を得たが、住所不明などにより同意率が上がらない。このままでは様々な問題発生が懸念される。都市計画の見直しが必要であるが、どのように考えているのか。

A 地元から用途地域の見直しについて要望があり、県からは市全体の土地利用の変更理由が必要で、農業振興地域など将来の土地利用が担保され、地権者の理解が得られるときに手続きに入れると伺った。また、提案要件である同意率3分の2には達していないため、現状では都市計画の変更は厳しい。

Q 都市計画指定から58年が経過。道路を造るのか対策を講じないと全て耕作放棄地になりかねない。本市の基幹産業は第1次産業の農業である。農地にも企業誘致にも道路は必要である。農業振興地域に編入する考えはないのか。

子育て支援

A 市内全体を見据えた見直しが必要で今後検討していくべき。市としては地域の合意形成が図れば農業振興地域への編入に向けて、県と協議していきたい。

Q 物価高騰もあり、子育てにはかなりの費用がかかる。出産・子育て応援給付金の増額や出産祝金を支給する考えはないか。

A 本市独自の子育て支援策として、2人目からの保育料の完全無償化（一人当たり支援事業費年間約19万6千円）、副食費の助成（同約5万4千円）があり、保育所等に入所の期間は毎年保護者の負担が軽減される。

出産・子育て応援給付金は妊娠中の母親に5万円、出産後に一人当たり5万円を支給。ご提案については大変魅力的だが、意見として受け止めた。

Q 小中学校給食費一人あたり幾らかかっているのか。

A 給食費全体の本年度予算は約2億2千万円。食材高騰に係る臨時交付金は約2400万円、保護者負担が1食あたり小学校240円、中学校280円。トータルで1食あたり小学校570円、中学校620円かかっている。



長浜会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

投票率向上策はどうなったか

Q 市議会議員選挙の投票率が前回よりも7・1%下がった。下落傾向ではあるが、他市の状況と比較して下げ幅が大きい本市の今回の選挙で、2時間繰上げの投票時間の影響が大きかったと思うがどうか。

A 7・1%は2522人になる。前回は18時から20時までの投票者が1196人であった。期日前が2%ほど伸びているが、繰上げの影響もあったと思う。

Q 選挙事務による費用削減（人件費）がメリットとしてあげられているが、市民の参政権はどのような予算・お金ではかれるものではない。改めてこの参政権の重要さを、市民みんなで共有したいと思うがどうか。

A 同感である。

フラワ―公園不正経理問題

Q 今の現状は？

A 第三者委員会による調査・報告が3月で終了し、任意での調査はこれ以上難しく、警察による捜査に委ねる必要があると思う。

Q まったく解決されていない中で、職員、市長、副市長へのペナルティは適切だったのか。特別職の報酬等審議会や市長会などで、この処分の妥当性を諮ることはできないのか。

A 特例的に自らの報酬を減額するために、議案を提出したに過ぎず、そのような機関に諮るものではないと思う。

Q 再発防止とともに、議会への説明義務の重さも今回の一因となっていると思う。これから求められていくことは、何事にも真摯に向き合う行政と議会の在り方である。共に問題解決についてこれからも話し合うことが重要だと思うがどうか。

A 自主事業等の責任の所在など、指定管理の在り方について見直すことも含めて、調整会議を設置することにした。早い時期に運用について協議したい。

【その他の質問項目】

◇人口減少対策

◇防災問題（高潮・高波・大雨）

◇市民の声（たしろ号・マイナンバ―カード）



庶民の会
はやしだ つとむ
林田 勉 議員

島原城築城400年記念事業

市民や企業・団体の参加での盛り上げ計画はあるのか？

Q こういう記念事業はめったになく、市民の団結や広く全国に島原の知名度アップ、島原観光の魅力を全国にアピールできるチャンスである。一般市民、企業、団体の参加・協力で盛り上げの参加事業はないのか？例えば、往時にあったであろう築城落慶の入城式での千人武将隊や騎馬隊、鉄砲隊、槍隊、農民隊などの仮装での登城イベントはどうか。

A 記念事業は歴史や文化関係にとどまらず、市民や観光客に参加してもらええるイベントを開催したい。

Q 観光客の誘客について、期間中、島原城や鯉の泳ぐまち界隈のライトアップ、商店街の水のオブジェ、宿泊施設での袴、町娘風の姿でのおもてなし等で「仕掛けて待つ観光」をすべきと思うが。

A 議員提案の意見を踏まえ、皆さんが参加できるものを考えていきたい。

Q そもそもこの島原城築城400年記念事業の「総合プロデューサー」はいるのか。

A 総合プロデューサーは設けていないが実行委員会があり、各部会から様々な意見をもらいやっていきたい。

不動産に関して市民へ新制度の周知を

Q 今後始まる改正不動産登記法とは。

A これまでは義務ではなかったが、今後は不動産の相続登記及び住所変更登記が義務づけられる。

Q 現在の島原市内の空き家の件数は。空き家対策特別措置法で、放置家屋等の特例の解除とは。

A 市内の空き家数は559戸、うち危険な状態の特定空き家数は12戸。特定空き家に認定されれば、現在の固定資産税の軽減がされなくなり本来の税額となる。例えば200平方メートル以下の住宅は6分の1の課税特例がなくなり本来の税額となる。

子育て応援・新入生ランドセル支給事業、決定後の保護者等の反応はどうか？

Q 保護者等の反応、意見はどうか。

A 当初は様々な意見があったが、支給製品が決定し、周知後は品質、耐久性、デザイン等、好意的な意見を多くもっている。

Q ランドセル支給事業の財源は。

A ふるさと納税を活用しており、ほとんど子育てにやさしいまちを寄附者に報告できればと思っている。



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

観光行政

Q コロナ後、これからの観光をどのような方向で捉えているのか。

A 観光産業は宿泊や土産品のほか、交通、飲食など多岐にわたり影響する分野で、地域で幅広い産業への効果を生み、地域経済の活性化に重要な役割を担っている。島原城や武家屋敷をはじめ鯉の泳ぐまちなどの観光スポットやジオの恵みの火山や温泉、豊富な海山の幸を堪能できるグルメスポットがたくさんある。テレビ番組やCMなどで取り上げられた観光スポットには多くの観光客が訪れており、周遊促進や滞在時間延長の効果を高めていきたい。インバウンドもまた復活してくるので、長期滞在に島原を選んでいただきたい。また、スポーツ合宿や大会の誘致が着実に成果を上げており、本市の強みを生かした事業推進で交流人口の拡大、アフターコロナの観光消費額の増加につなげていきたい。

Q 道の駅構想の展開をどう考えているのか。

A 今日、経験したことがないスタイルの道の駅が登場している。島原

半島は県の農業産出額が47%で、やはり一大農産地として道の駅の魅力があり、また、災害対応の拠点として国交省からのアドバイスもいただいた。農業振興地域では道の駅のトイレが農作業をされる方にも利便性が高い。大手メーカーが外資系のホテルを建設するケースなど、多岐にわたっているので、様々な情報を収集して議論を積み重ね、島原に合うものが見つかればいいと考えている。

Q 沖縄や福岡などでアジア向けの観光として屋台がブームとなっているが、どう思われるか。

A 屋台村には非常に高い関心がある。公共施設の使用や民間のチャレンジャーなどいろいろなケースが想定される。まずはいろんな事例の情報収集をしてみたい。

Q 新たな戦略で外国人観光客を増やす考えはないか。

A 今春オープンした旧堀部邸の「HOTEL水脈mio」は、宿泊稼働率が3割から4割の目標で順調に稼働している。東京から20代カップルが1泊約3万円でも普通に宿泊されており、カフェも人気を博している。

【その他の質問項目】

◇企業誘致に向けた今後の展望について

◇産業の活性化のための戦略をどう捉えているのか



実践クラブ
もりぞの こうたろう
森園 浩太郎 議員

島原市立小・中学校再編基本計画

Q 計画の趣旨、考え方は？

A 趣旨は2つ。学校施設の老朽化による将来的な維持、更新に係る財政的負担の軽減と、人口減少で少子化による学校の小規模化が進む中で教育効果を高めるため、一定の学校規模を確保する必要がある。

Q 具体的な再編スケジュールは？

A 公共施設等総合管理計画では令和18年以降、徐々に進めていく計画だったが、合意形成が図られたところから早めに進めていきたい。

温水プール跡地

Q 既存プールを解体した跡地は、グラウンドゴルフコースに必要な面積と同じなので、活用を検討をできないか。また、霊丘公園で開催されている行事（初市、精霊流し、相撲、グラウンドゴルフ、ペタンク等）の代替地の予定は。

既存プールを解体した跡地は、グラウンドゴルフコースに必要な面積と同じなので、活用を検討をできないか。また、霊丘公園で開催されている行事（初市、精霊流し、相撲、グラウンドゴルフ、ペタンク等）の代替地の予定は。

A グラウンドゴルフの練習場所は代替場所を検討中。ペタンクは霊丘公園内のローンボウルス場の利用で調整中。初市の代替地は未定。精霊流しは新たな温水プールの駐車場スペースがどのように整備されるか確認しながら、使用の可否を協議する必要がある。

市内の交通危険箇所

Q 新山原町線と上の原球場線の交差点。

A 交通安全対策は必要と認識しており、道路標示や看板設置など、一時停止線を含め対策をさらに警察へ要望したい。すぐにできる対策として、上の原球場線に減速と交差点注意の路面標示をした。

Q 霊南山ノ神線、白土湖横の交差点。

A 警察に信号機の時間調整をお願いしている。それまでの間、車両進入抑制の路面標示を予定。

【その他の質問項目】

◇有明の森フラワー公園における再発防止策について



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

公共施設の総合的な再編

Q 学校施設と公民館施設は共通した機能が多く、持続可能な公共施設の維持管理を考える上で総合的に考える必要があるのでは？

A 四小と杉谷公民館の併設型の優良例もあり、学校敷地内の併設型も含め学校校舎内に造るのがいか、研究する必要がある。四小では学校調理場を地域へ開放する方向で進んでいる。

ウィズコロナ

Q 地域の中でお金を滞留させる目的で、プレミアム付商品券の地元券を発行する自治体が増えているが、検討はされたのか？

A 地元券の発行は従前から検討しているが、生活者支援の観点から共通にした。3割強は市内に本店がある事業所で使われており、市民の使い勝手もみながら幅広く検討させてほしい。

Q ①学校給食の現状は、コミュニケーションが取れないなど負担をかけていないか？②給食費無償化の財源としてごみ減量化で削減した経費を運用できないのか？

A ①国からの通知では黙食は必要ないとなっているが、感染症が流行している場合は会話を控えるなどの措置を行っている。徐々に会話を増やしながらかやっていると給食に戻していければと考えている。②子供たちの未来のための財源として検討したい。

市民の声

Q ランドセルは1月ごろから準備をされるので、時期を早めるために補正予算等で対応する工夫と、「とるっと」などを利用した周知を図っていたきたい。

A 補正予算や債務負担行為と組み合わせるなど予算については工夫してみたい。次年度以降は、展示場を増やすなど検討したい。

【その他の質問項目】

- ◇学校の再編計画
- ◇地域経済の現状と今後の対策
- ◇マイナンバーカードの可能性
- ◇道路の安全
- ◇道の駅
- ◇広馬場埋立地の有効活用
- ◇サイクリングロード



カラフル
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

市民が参加しやすい選挙をめざして

Q なぜ、投票日の投票時間が2時間短くなったのか？

A 期日前投票所の投票率が増え、有権者への影響は少ないなどといった理由から選管において決まった。

Q 前回と今回の投票率の比較は？

年代	男 (%)	女 (%)
10	△ 7.06	△ 4.98
20	△ 10.66	△ 6.53
30	△ 9.60	△ 9.09
40	△ 7.66	△ 7.96
50	△ 10.24	△ 10.06
60	△ 7.05	△ 8.26
70	△ 7.38	△ 4.94
80	△ 5.06	△ 5.17

全体平均△ 7.12%

Q 全体平均より下げ幅が大きいのは、働いている年代。時間を短くする前に改善すべきことがあったのではないか。無効になった投票用紙は何票？

A 184票で投票総数の1.16%。白紙投票、候補者以外の者の氏名が書かれていた票など。

Q 電子投票の検討はしたのか？

A 検討していないが平成28年以降、全国でも実施されていない。マークシート方式は？

三会出張所閉鎖後の対応

Q 行かない窓口の検討は？

A 市全体において、高齢者のための施策を考えていきたい。

小中学校再編（素案）

Q 通学距離が広がるが、今後どのようになるのか？

A スクールバス等も検討する。

Q 若い夫婦が住みたがるのは、学校の近く。学校に遠いところは過疎が進む。地域の中で小中一貫校を。

A 各地区にそういった思いを酌んでいくと再編計画はできない。子供たちの教育に資する再編であるように検討したい。

高齢になっても安心して暮らせる島原を

Q 市独自の高齢者支援はあるのか？

A 少子化対策と併せて、高齢者の生活の在り方は、大きな課題と認識している。

【その他の質問項目】

- ◇こどもの貧困対策は現物支給で



実践クラブ
きたうら もりかね
北浦 守金 議員

有明の森フラワー公園に係る不正な事務処理

- Q** ① 第三者特別委員会の報告書を読んだ市長の感想は。
- A** ② 不正経理の要因は「アルレッキーノ」だが、市長は運営計画を聞いていたのか。
- Q** ③ 不正経理、赤字補填の責任は指定管理者ではなく産業部の職員に責任があると思うが。
- A** ④ 警察にお願いすると、核の部分が表に出ると理解するが。
- Q** ⑤ 再発防止に取り組んでいるのか。また、フラワー公園は現在直営だが、早急に指定管理者の募集をかけられないか。
- A** ① つかみにくいところが多いというのが率直な感想。
- Q** ② 口頭で大丈夫かと担当者に聞くと、大丈夫という報告であった。直接的に中身の報告の機会はなかった。
- Q** ③ あやふやな指定管理の中での自主事業の扱いだった。一定の関係性については司法に判断してもらわなければならないと思う。

- Q** ④ 警察による捜査が全容解明につながると考え、資料等を提出。最終的な告訴状の提出について警察と調整している。
- Q** ⑤ 再発防止策を構築した上で、物産館を含めた施設の指定管理に向けて取り組んでいきたい。

半導体関連企業の誘致

- Q** 企業誘致に必要な条件は。
- A** ① 平たんで広い用地、物流に係る道路や主要道へのアクセス環境、電力の送電、十分な工業用水、排水路、人材確保。

- Q** 世界的な事業である半導体の企業誘致を期待している。工業用水供給能力調査業務に係る期間は。
- A** ① 半導体、医療、工業用水を求めている企業にあたりたい。調査は年内に一定の区切りをつけ、周辺の農業や生活用水への影響など見極める調査を、2分の1の県補助で行いたい。

- Q** 今の職員体制で誘致合戦に負けないか。また、地元住民にきちんと説明をしないと、企業誘致の足かせになってはまずいと思うがどうか。
- A** ① チャンスと思えば応援体制も必要なので、議会にもご相談したい。地元住民にも早急に説明をしたい。



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

市職員の職場課題

- Q** 行政改革で正規職員は352人となり、平成18年4月1日時点の432人を基準とすると80人も減少し長時間労働の要因となっている。現在の業務量を考えると、正規職員不足は改善すべき重要課題である。市長は職員を守る責任がある。市正規職員の定員管理の適正化の考えは。
- A** ① 平成29年4月1日の職員数368名を基準に適正な人員配置を図る。

- Q** 職員の休日未取得の実態と見解、サービス残業の実態はあるのか。
- A** ① 今後も未取得は消化するよう働きかけたい。時間外勤務は各所属長において、必要性の命令と事後の確認を徹底させており、サービス残業は行われていないと認識している。

- Q** 会計年度任用職員は来年度より勤勉手当の支給が可能。その準備は。
- A** ① 国の動向を注視し、県内各市の状況を勘案し進めたい。

新山本町線、交差点の交通事故防止と安全対策

- Q** 新山本町線・総合運動公園と白土湖縦線交差点に信号機設置を。
- A** ① 信号機の設置は住民や関係者の要望もあり、警察には2度要望したが、市としても危険性は認識している。引き続き、看板設置や路面標示等を県振興局と連携し、必要な対策に取り組んでいきたい。

- Q** 信号機がつかない理由は。なぜ「止まれ」の表示ができないのか。
- A** ① 1度目の警察への要望で、フル規格の信号機設置は上の原球場線の幅員が狭いなど道路構造上、難しいという回答。2度目は押しボタン式信号や一時停止線の設置を要望したが、今後の交通実態を踏まえ検討するとの回答であった。

吉獣の対策

- Q** 野生のサルが中心市街地で目撃されている。本市での害獣駆除対策マニュアルは。
- A** ① 県のマニュアルを基に対応。目撃のサルは基本的には山に追い払うよう市民と協働して対応している。

【その他の質問項目】

- ◇（人口減少対策）交通運輸産業と介護職の強化、農業政策について
- ◇（学校運営と環境）学校の統廃合方針の今後の考え方と教職員不足問題、新温水プール建設でのグラウンドゴルフなど霊丘公園運動広場の代替策経過について



カラフル
まつさか まさお
松坂 昌應 議員

道路等の保全・改善

Q 消えかけた白線などをこまめに塗り替えるような保全も大事だが、時代の変化（歩行者優先、自転車ブームなど）に対応して改善はなされているか。

例えば、加美町公衆トイレ交差点横断歩道の設置要望に対して、「アーケードにも安養寺交差点にも横断歩道があるので、円滑な交通の流れを踏まえると難しい」と鉄砲を持った警察は難色を示すが、車優先の考え方ではないか。市の実情をきちんと伝えれば変わると思う。是非、歩行者優先で考えていただきたい。

A 色んな方からの要望を、各方面に相談しながら進めていく。ただし警察がウンと言わないケース（加美町横断歩道）もある。

日本一の防災を目指して

Q 地域自主防災の主体である自治会町内会に職員を職務として配置してはどうか。

A 先進自治体事例では、地域担当職員を配置してある例もある。もっか研究中、十分検討したい。

有明の森不正会計問題

Q まだ究明は終わっていないという認識でいいか。

A 警察の捜査に委ね、引き続き問題解決に向けて取り組む所存。

Q 議会特別委員会では、職員が指定管理者に貸した多額の金銭の動きを、個人と指定管理者の私的な事として、市の扱う範囲ではないとしたが、第三者委員会は問題視している。指定管理者も借りているとの認識。きちんと究明すべき。

A 複数職員が資金提供したことは認識している。なぜそれだけ出さざるを得なかったのかも一番知りたいところ。いろんな捜査機関等の力を借りてでも解明していきたい。

【その他の質問項目】

◇島原半島は一つ



公明党
まつざき こうだい
松崎 広大 議員

安中まちづくり協議会とは

Q 安中まちづくり協議会とは。

A 地区の伝統行事の存続の危機などを地域課題と捉え、町内会や自主防災会、青少年協などを中心に各団体が連携し、活気ある地域づくりができるよう、準備会を経て令和4年12月に本市で初めて発足。将来を見据え、魅力ある地域づくりに取り組まれている。

Q どのようなロードマップを展望しているか。人的・財政的なバックアップは。

A 地域コミュニティづくりを重要課題とし、地域性を踏まえて解決に向けた話し合いができるよう、準備会を立て、安中地区をモデルに市内全域に広がっていくよう取り組みたい。

また、支援員を安中地区に配置した。地域に沿うアンケート実施の事務費等も計上しており、各地域で自

立したコミュニティが進むよう国の制度等を用いながら、財政的な支援の検討も行う。

島原市の不登校対策

Q 文科省より「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」が発表されたが、市の不登校児童生徒の現状と見解は。

A 様々な要因で年間30日以上登校しなかった児童・生徒は、昨年度小学校18名、中学校55名。一人一人に寄り添う教育活動と、適性に応じた支援、児童・生徒すべてに学びの場を確保するよう体制の構築に今後も努めていく。

Q 端末を使ったオンライン授業の現状は。

A 一人1台端末の配備が完了。コロナ拡大時にオンライン授業を実施した学校もあり、学びの場の保障については実践を増やしている。

【その他の質問項目】

◇雲仙岳災害記念館、こどもジオパーク年間パスポートの再開



島原新時代
まつい もとひろ
松井 扶公 議員

安中運動広場の整備

島原市の安定促進を進める上で、子供から高齢者までが利用する地域のスポーツ交流の場を整備していくことが必要だと考える。

Q 安中運動広場の現状は？

A 現在、高齢者の方がグラウンドゴルフ、小学生がソフトボールやサッカーでほぼ毎日使用中。安中地区の地域の運動場として欠かせないもの。令和4年度で、年間1万6216人が利用した。

Q 市はどのような管理をしているのか？

A 年2回の雑草除去業務をはじめ、週1回のトイレ掃除、年6回のトイレの汲み取り等を行っている。令和4年度には高齢者等に配慮し、トイレの一部洋式化も実施した。

Q とりわけ国旗掲揚台やあずまや付近はかなり茂っている状況である。年2回の雑草除去業務を年3回、年4回に増やすことはできないか？

A ほぼ毎日使われているグラウンド部分は、雑草は生えていないが、予算の関係もあるので調整し、気がけて除草作業ができるようにはしたい。グラウンドを優先して除草していたので、国旗掲揚台やあずまやについてはできていなかった。市の他の施設の状況も見ながら調整させてほしい。

Q グラウンドには石が埋まり、表面がはがれている。高齢者や子供が怪我をすることも考えられる。

A ①グラウンドの土の入替えはできないか？
②いつ頃できるのか？
③砂が流れて減っているので、増やしてほしい。

A ①入替えではなく碎石を取り、その穴に真砂土を入れるなどの工夫ができればと考えている。

②早いうちにと考えている。
③検討させていただきたい。



平成会
はまさき きよし
濱崎 清志 議員

市長の市政運営

Q 市長の出張回数について、コロナ前の平成30年度と令和4年度ではどのようになっていくのか。

A 平成30年度が130回、令和4年度が116回。出張経費等は、市長及び随員職員を含め、平成30年度が510万882円、令和4年度が329万4750円である。

Q 日本ジオパークネットワーク及び長崎県市長会への職員派遣に伴う経費は幾らなのか。

A 派遣職員の人件費等の経費は基本的に本市が負担しており、日本ジオパークネットワークは令和4年4月から令和5年6月まで約1418万円、長崎県市長会は令和5年4月から6月まで約281万円となっている。

Q 島原観光ビューローの役員について、3月議会で市長も矛盾を感じている、今後については検討する旨の答弁があったが、その後どうなったのか。

A 今年度末をもって一旦任期が満了するので、今年度中には一定の方向性を出したいと思っている。

Q 島原観光ビューローの退職規定が今現在ないと思うが、どうなっているのか。

A 現在、退職手当について検討がされていると聞いている。

Q 島原城で梅がきれいな時期にお茶会をしていたが、そういった時期は無料開放することはできないのか。

A 島原城築城400年記念事業として市民向けの島原城の無料開放を考えている。

【その他の質問項目】

◇指定管理者制度について

◇定住促進事業について

◇窓口業務の簡略化・統一化の進捗状況について

◇交通安全対策について



実践クラブ
まわたり みつはる
馬渡 光春 議員

島原城築城400年記念事業

Q 実行委員会の構成と開催状況は。

A 市、議会、商工業、農漁関係、市民団体、交通機関など、関係41団体で構成し、平成30年度から令和元年度までに会議を4回開催した。

Q 実施した事業と経費は。

A キャッチフレーズ、ロゴマーク募集、様々な事業の実施や島原城一斉清掃などで約388万円。関連事業は天守閣外壁等改修、無電柱化など3事業で、約5億9218万円。

Q ふるさと納税での築城400年枠の基金の状況は。

A 経費を差し引き、昨年度末の基金残高は約8400万円。

Q 今後の計画と記念事業の周知や気運醸成の対策は。

A 10月19、20日を中心に記念行事を企画。半年後の事業年の1月に備え、早急に今後の事業を示したい。インターネットなど様々な手段で情報を発信し、観光大使、ふるさと納税大使にもできる相談はしたい。

中学校部活動の地域移行

Q 市内中学校の現状は。

A 運動部47、文化部10の計57、加入率は80・5%。団体競技では1校でチーム編成ができない部が増加状況。平成30年度から令和4年度までに5の部活が廃部や休部の状況。

Q 部活動の地域移行のメリット、デメリットは。

A 活動の選択肢が広がり、専門的な指導が可能になる反面、指導者や受け皿の確保、保護者の経済的な負担や指導者の兼業等の課題も多い。

道路管理における市民の安全対策

Q ①新山原町線の上の原交差点に一時停止の設置を急げ。

A ②有明大野線の中央線の整備を。

Q ①関係機関等に要望する。

A ②延長4・8キロメートルのうち、1・4キロメートルが消えている。予算の範囲で施工する。



全国市議会議長会表彰

第99回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として、長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、4人の議員が表彰を受賞され、7月12日の定例会本会議において表彰状の伝達を行いました。



本田 順也 議員
(在職20年以上)



林田 勉 議員
(在職15年以上)



永田 光臣 議員
(在職15年以上)



本多 秀樹 議員
(在職15年以上)

委員会活動報告

本会議で付託された議案等について、**総務委員会・産業建設委員会・教育厚生委員会・予算審査特別委員会**を開き、審査等を行いましたので、その概要をお知らせします。

なお、各議案の内容（ピックアップ）については、一部掲載です。

総務委員会

審査件数3件

●第36号 島原市税条例の一部を改正する条例【可決】

Q 個人住民税均等割と合わせて一人年額千円を徴収することだが、市民の負担はどう変わるのか。

A 現在、防災施策の財源として、個人住民税均等割と県民税を合わせて千円徴収されているが、その分が令和5年に終了するので、実質その分と置き換わるような形になる。市民の負担は従前と変わらないと考えている。

Q 森林環境譲与税は数年前からあったと思うが、それとの関係性はどうか。

A 森林環境譲与税については、既に令和元年度から市に配分されているが、今回、令和6年度から森林環境税を市で徴収するために改正するものである。

Q 森林環境譲与税の用途はどうなっているのか。

A 森林の整備に関する施策や人材育成、担い手の確保など、森林に携わる方々の支援をしていく形になる。

Q 燃費・排出ガス性能に係る不正行為への対応強化については、自動車メーカーに負わせる罰金を増やす改正だと思うが、改正内容の説明をお願いする。

A 今回の改正については、令和4年3月以降に発売した一部メーカーによるトラック・バスの環境性能の不正により、税制の優遇措置の根幹を揺るがす事態が発生したことで、メーカー側へ追加納税に加算する額を引き上げようとするものである。その加算する額を10%から35%へ引き上げ、メーカー側により強く措置を行うことで、不正行為の再発防止に努めようとするものである。

●第37号 島原市収入印紙等購買基金条例の一部を改正する条例【可決】

Q 令和4年をもって収入印紙の販売を終了したとのことだが、理由を確認したい。

A これまで本庁舎の会計課窓口にかけていた販売所では収入印紙と長崎県証紙の販売を行っていた。

当該販売所は平成22年4月1日からパスポート発行事務のために、総務大臣の認可を受け、郵便局との委託契約のもと設けていたものであるが、パスポート事務が本庁舎からイオン島原店内の「とるっと」に移ったことにより、当初の開設の認可条件がなくなったことを受け、郵便局から解約の申し出があり契約を終了することとなった。

また、イオン島原店内では、既に収入印紙等をサービスカウンターで販売されているので、「とるっと」では収入印紙の販売ができないことから、本市においては長崎県証紙のみを販売することとなった。



●第40号 島原市過疎地域持続的発展計画の変更について【可決】

pick up

地域における情報化に係る事業に新たに光回線未整備地域整備事業を加えるための変更

Q 光回線未整備地域整備事業の事業内容について。

A 現在、光回線が引かれていない未整備地域の整備事業であり、市内の対象世帯は約180世帯である。主な地域としては、旧有明地区、油堀町、礪石原町及び下折橋町等が対象地域になっている。

Q 事業費の予算規模はどうか。

A 本事業については、N T T 西日本が民設民営で実施する事業である。事業費については、約1億3千万円を見込んでおり、その中で市の負担部分として8100万円を当初予算に計上させていただいている。

Q 未整備地域はどれくらいで解消できるのか。スケジュールはどうなっているのか。

A 現在、通信事業者が国庫補助金を申請中である。その決定が下りるのが7月、8月と聞いているので、決定が下り次第、事業に着手して、年度内の完成を予定している。

産業建設委員会

審査件数1件

●第38号 島原市建築関係手数料条例の一部を改正する条例【可決】

Q 「都市の低炭素化の促進に関する法律」にも「建築物エネルギー消費性能向上に関する法律」は関連しており、今までの性能基準に今回仕様基準が加えられたようだが、どのような基準が加えられたのか。

A 今までは緻密な計算で各部位の断熱性能を数値化したものと、エアコンなどの一次エネルギーの消費性能を数値化し認定していたもので、今回各部位の断熱材の厚さや設備機器の能力など具体的な仕様基準を満足することで性能基準の認定相当と判断できる基準が新たに設けられた。

Q 建築物エネルギー消費性能向上計画の認定のメリットは。

A 容積率において、床面積の10%を限度に省エネ設備の面積が控除されるといふ緩和規定と子供エコ住まい支援事業ができるなどのメリットがある。

Q 長崎県の手数料が変わったとのことだが、市独自で決めているのか。

A 手数料の額については、長崎県下統一の手数料であり、国が示した想定処理時間に人件費単価を掛け経費を加算して算定しており、人件費単価が県内統一であるので、県の手数料と同額になっている。

教育厚生委員会

審査件数1件

●第39号 島原市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例【可決】

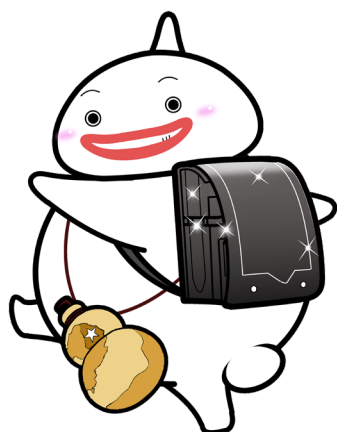
pick up
福祉医療費の現物給付方式による支給対象を乳幼児に加え小・中学生を追加する

Q 県が高校生まで無償で、その後市で中学生までの分を現物支給にすることだが、県、国との兼ね合いはどうか。

A 高校生世代については県の補助10分の10で行っているが、乳幼児の福祉医療費については、現物給付で2分の1の県の補助がある。小・中学生については県の補助がない。そのほかひとり親家庭についても県の補助があり2分の1となっている。

Q それぞれ県の補助が半分あったり無かったりという状況であるが医療費なので全国統一にするべきじゃないかと思う。そんな考え方をするとこれから市の持ち出しというものは県と相談しながら見直すこともできるのか。

A 小・中学生については、市の単独事業で予算を支出しているが、全国的にどこも小・中学生までとか高校生までとか助成をしており、各自治体で競争にはなっていないだろうというところで全国市長会や県にも国が統一してそういう助成をすべきだということ要望を出している。高校生世代については、県のほうが3年間償還払いでやってみて、実績をみてその後を検討するというところで、現在のところ、それ以降についてはまだはつきりしていない。



ようこそ島原へ

島原市議会では、議会の取り組みや、市の事業などさまざまな項目で視察をお受けしております。

本市の取り組みが、全国各市の施策の参考となれば幸いです。



4月25日 岡崎市議会
歴史めぐり観光



5月23日 嬉野市議会
庁舎建設

予算審査特別委員会

審査件数1件

審査に当たっては、まず常任委員会を単位とする各所管の分科会からの審査報告を行い、その後、総括質疑を行いました。

●第42号 令和5年度島原市一般会計補正予算（第4号）【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ2億7049万5千円を追加し、予算の総額を248億3485万7千円とするもの。

Q 町内会・自治会関係経費については、桜門公園にあずまやを造るということだが、こういうものを整備するのか。

A 桜門公園は憩いの場、あるいは簡単な運動の場として、小学生から高齢者まで幅広く利用されており、今回、江戸丁町内会から申請が上がっている。夏の日差しが強いときの日差しよけの場として、いわゆる藤棚を整備することで、地域住民に安心・安全の場を提供し、より親睦、融和を図ることを目的として、コミュニティ助成事業助成金を使いパーゴラを整備したいということである。

pick up

コミュニティ助成事業	250万円
公共交通事業者等継続支援事業	3310万円
貨物運送業継続支援事業	1360万円
福祉医療費給付費	1195万6千円
水道施設等電気料金助成事業補助金	965万2千円
新型コロナウイルス接種事業	1億2471万5千円
施設園芸等燃油価格高騰対策給付金	650万円
農業水利施設電気料金高騰対策事業補助金	117万6千円
優良肉用子牛生産推進緊急対策事業補助金	1087万円
家畜飼料価格高騰対策事業補助金	2540万円
国産粗飼料利用拡大緊急略農対策補助金	1064万円
漁業用燃油価格高騰対策事業業務委託料	562万円
工業用水供給能力調査業務委託料（企業誘致活動事業）	971万6千円
小中高が一体となったふるさと教育推進事業	120万円

Q 10月から福祉医療費が現物給付に変更になる。申請方式を現物給付にした場合は、来年は1・5倍、2年後には2倍になるというような話をよく聞く。その要因はどのように捉えているのか。

A 実際に償還払いから現物給付になった際には、市民の方は受診がしやすくなり、受診回数も増える。今まで申請をされていなかった方も市が自動的に負担することになるので、その要因で金額が上がってくると考えている。

Q 保育対策総合支援事業のおむつ処理機だが、全園なのか。申請があつたところに対してなのか。

A 4月に各園の希望を取り、16カ所から希望があつたので、20万円の16カ所ということで予算を上げさせていただいている。

Q 燃油価格高騰対策給付金に関して、対象者への支援の方法について。

A 農業関係の給付金については、各個人で実際に購入された領収書を添付して申請していただき、その申請に応じて支給している。また、漁業関係については、漁業者が領収書を添付して漁協に申請していただき、最終的には漁協から市に実績を上げていただくことになっている。

Q 工業用水供給能力調査業務委託について、調査に至った経緯は。

A 昨年度実施した杉谷運動広場周辺の水源調査では、地質構造を調べるための電磁探査と水脈を調べるための放射能探査を実施して、杉谷運動広場周辺の地下に大きな水の帯水層があることが分かった。今回計上している予算については、その実際の水量調査と水質調査、並びに取水した場合の周辺への影響調査をさせていただきたいと考えている。

Q 三会中学校のふるさと学の内容を教えてください。

A 長崎県教育委員会から本年度からスタートするふるさと学について県内に研究指定校の依頼があつた。本市としては昨年度から高校と一体となつたふるさとを見つめ直す、ふるさと教育の推進を図るということを進めていたので、ぜひこの事業については研究を進めてまいりたいと考えていたところである。予算としては年間120万円が計上され、三会小と三会中で分配して研究を進めていきたいと考えている。中身についてはこれから協議をしていくが、基本的にはこれまで小学校、中学校でそれぞれふるさとに学ぶ、あるいは職場体験学習など行ってきたという経緯があり、これを小中一貫9年間のモデルカリキュラムを作っていくことに取り組んでいく予定である。

市議会からのお知らせ

「議会中継」「会議録」「議会だより」

議会中継

本会議はケーブルテレビ、インターネットで視聴できます。

また、FMラジオでも放送されています。

(市議会のホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/> から傍聴・議会中継へ)

会議録

会議録は、島原図書館、有明図書館、市内各公民館及び議会図書室にて閲覧することができます。また、市議会ホームページで平成5年以降の会議録を閲覧・検索することができます。

(市議会のホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/> から会議録の検索と閲覧へ)

議会だより
(音声版)
(点訳版)

議会だよりは、定例会ごとに年4回発行し、市内各世帯に配布しています。また、目の不自由な人向けに音声版、点訳版を島原声のボランティア「ゆずの会」及び島原点訳サークル「がんばっ点!」の皆さんのご協力により、それぞれ発行しています。

◇音声版、点訳版を希望する人は、福祉課障害福祉班に問い合わせてください。 電話 63-1111 内線 273

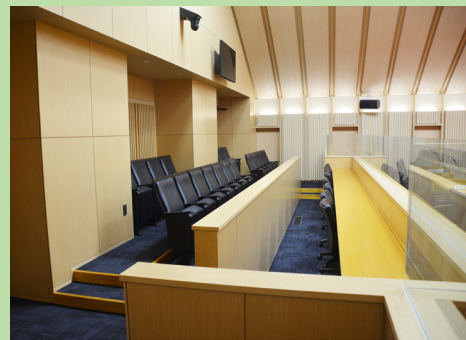
議会を傍聴して
みませんか

次回定例会開会予定は **9月1日** (金) です。

●時間：午前10時 ●場所：本庁舎4階 市議会議場



議 場



傍聴席

● 編集後記 ●

今任期がスタートし、新メンバーによる初めての島原市議会だよりの発行となりました。わかりやすく、読みたくなる紙面づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、6月定例会では、正副議長の就任をはじめ、議会運営委員会や各常任委員会の委員選任など、新しい議会の構成が決まりました。心機一転、議員全員一丸となって議会運営に取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になったことを受け、島原市議会も感染拡大防止のための対応方針を見直しました。

市議会を傍聴される皆様にお願ひしておりましたマスクの着用や、間隔を空けての着席については今定例会から緩和しております。ぜひ、市議会の傍聴にお越しください。

議会に対する市民皆様のご意見等をお寄せください。

編 集 委 員

(◎委員長 ○副委員長)

◎本田順也

○本多松弘

松井扶公

草野勝義

本多秀樹

馬渡光春

森園浩太郎

次回は

📅 **11月1日**

発行予定です

(年4回発行)

